



まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.366-7382



会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。

夢と感動を ありがとう!



松戸市役所を訪れた山崎直子さん



松戸市ホームページのトップ画面右側にある「まつど市議会」をクリック!

「インターネット議会中継はこちら」をクリック!



ライブ中継をご覧になる時は「本日の会議」をクリック!
録画中継をご覧になる時は希望の定例会や臨時会の開催月をクリック!

インターネット中継アクセス件数
18万8,975件
(平成17年6月開設から22年6月末まで)

本会議のインターネットライブ中継を開始

松戸市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継していますが、平成22年6月定例会から、ライブ中継を開始しました。ライブ中継は、松戸市のホームページから次の手順によりご覧いただけます。

6月定例会

平成22年6月定例会は6月18日から7月1日まで開催されました。

今定例会では、まず専決処分議案1件が承認された後、松戸市出身の宇宙飛行士 山崎直子氏を松戸市名誉市民とする議案が全会一致で同意されました。

さらに、市長から提出された議案10件や市民の方々から提出された陳情が各委員会で審査され、最終日には、これらの案件のほか議員提出議案が上程され、採決されました。

(4面に審議結果を掲載)

主な議案の概要

◎松戸市住民基本台帳カードの利
用に関する条例の制定について
住民基本台帳カードの多目的の利
用により、民間事業者が設置する
専用端末機で証明書の交付を受け
るサービス及び子育て支援事業に
係るサービスを提供するため。
◎松戸市立高等学校授業料等徴収
条例の一部を改正する条例の制定
について

公立高等学校に係る授業料の不
徴収及び高等学校等就学支援金の
支給に関する法律の施行に伴い、
松戸市立高等学校の授業料を無償
化するため。
◎松戸市名誉市民の決定について
松戸市出身の宇宙飛行士とし
て、宇宙科学の発展等に関する功
績が卓絶であり、広く市民から敬
愛されているため。

一般質問

6月定例会では、26人の議員が一般質問をしました。一般質問は、市政の諸問題や将来の見通しなどについて、市の考えを聞くものです。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。

質問をした議員(通告順)

- 織原 正幸・中田 京・杉浦 正八・山沢 誠
- 森下 彰司・宇津野史行・飯箸 公明・城所 正美
- 諸角 由美・石川 龍之・田居 照康・高橋 妙子
- 矢部 愛子・渡辺美喜子・工藤 鈴子・磯崎 吉弘
- 山中 啓之・長谷川 満・中村多賀子・高木 健
- 市川 恵一・松井 貞衛・高橋 義雄・二階堂 剛
- 谷口 薫・桜井 秀三

いわゆる

中一ギャップへの取組

問 解消に向けた対応策は。

答 「中一ギャップ」現象の一つである不登校数は、全体的には減少傾向にあるものの、小学校6年生から中学校1年生になった時に増加が見られる。対応策としては、中学校の教員が小学校で授業を行う「出前授業」、中学校入学前の児童に部活動等を体験させる「体験入学」、中学校の生徒が小学校に出向いて学校生活を説明する「学校説明会」等、さまざまな取組を行っている。教育委員会としても、平成20年度から小学校5年生と中学校1年生を対象に「Q-U調査」や「豊かな人間関係づくりプログラム」の実施により、不安を抱える児童・生徒の早期発見とコミュニケーション能力の向上に取り組んでいる。また、スクールカウンセラーを交えた小中学校間の情報交換も成果を上げている。

幹部職員への登用

問 定年退職直前の1年間に重要なポストに就けることへの考え

答 市の経営に重要な位置を占める特別職や本部長・担当部長職等に登用する職員は、実績や能力はもとより、強い責任感と使命感に根ざす総合的な判断力・決断力が求められる。松戸市も団塊世代の大量退職の時期を迎え、世代交代を進めるため、年功序列にとらわれないこと、勤務評定や各種プロジェクトで活躍した職員を見いだす等、将来市政を担う人材の発掘・育成に努めている。また、管理職への昇格年齢についても段階的に引き下げ、最長で43歳の課長補佐職を誕生させるなど、若返りを図っている。

みんなにやさしい

北小金駅に

問 北小金駅北口のバリアフリー化の進捗状況と効果は。

答 北口のバリアフリー化は、鉄道営業線が接近する特殊な事情を考慮して、実施設計と建設工事をJR東日本への負担金事業として委ねることとなり、今後は、柏方向の階段を除去して、平成23年度中には、11人乗りエレベーターの完成を目指している。



バリアフリー化が待たれる北小金駅北口

フリー経路が実現し、これまで移動の制約を受けていた人を含め、多くの人に移動の機会を増やし、ひいては南北間の交流を促進し、街全体の活性化に寄与していくものと考えている。

官民協働による

生活カタログの作成

問 全戸配布の周知方法と今後の取組は。

答 生活カタログは市民の便利帳として、行政・市内施設・医療等の情報を幅広く掲載し、市民へ提供してきた。平成22年度は、官民協働事業により25万部を作製し、10月頃に全戸無料配布を予定している。配布方法は、約21万4千戸へ宅配をするとともに、転入者向けにも市民課と各支所に備え

付ける予定である。また、配布情報を広報まつど等に掲載し周知する。なお、今回の発行は24年度を予定しており、今後も市民に身近な情報誌として活用していただけるものと考えている。

歯と口腔の健康づくり

問 フッ化物塗布など虫歯予防対策の効果的な実施および本市の虫歯の現状は。

答 幼児の虫歯予防教室やわんぱく歯科くらぶで、フッ化物塗布を実施しており、平成21年度は991人に実施した。また、効果的なフッ化物応用の一つに、フッ化物洗口(うがい)があり、4歳から5歳児を対象に民間保育園での説明会や講演会を実施する等、普及啓発に努めている。

事業の拡大については、県の基準を上回る所得制限なしで自己負担200円の松戸方式を堅持し、県に合わせた制度拡大を行うべく準備を進めている。

土の再利用を

問 都市部の自治体では、家庭で使用した園芸用の土を回収して市民等に還元しているが、リサイクル意識の向上を進めるためにも、本市で実施できないか。

答 松戸市では、園芸用に限らず土そのものが資源であり、一般廃棄物には含めていないため、平成21年度からごみとして収集運搬はしていない。土は再生・再利用できるので、その方法をさらにPRしていきたい。

市民後見人養成事業の継続を

問 協働事業による「市民後見人養成事業」は評価が高く、また成年後見制度の必要な事例が増えていることから、今後も拡大していくべき事業ではないか。

答 後見人は、親族のほか第三者後見人として弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職が選任されることが通例であるが、専門職ではない市民後見人や法人後見人の必要性和重要性を再認識した。行政の役割としては、後見制度に携わる人材の裾野を広げることと市民が利用しやすくなるのが重要と考えている。

政令指定都市の研究について

問 人口減少、少子高齢化社会が加速する将来、松戸市の抱える財政的後年度負担は、合併して政令指定都市になった場合、市民負担はどうか。

答 政令都市の実質的な研究は、葛南側4市(市川市・船橋市・鎌ヶ谷市・松戸市)と柏市との2市で実施した。両研究ではできる範囲での財源推計と人口推計を行った。その結果、自治体の借金といわれる地方債については、調査時の本市の残高は市民一人当たり20万4000円、4市合併の場合の残高は18万8000円で、1万6000円減る。2市での合併の場合には25万4000円で、5万円負担が増えるという結果が出た。

駅にエレベーターを



上位を目指して(第35回松戸市交通安全子ども自転車競技大会)

問 JR松戸駅、JR新八柱駅および新京成常盤平駅のエレベーター設置計画は。

答 松戸駅については、JR東日本において、駅改造の基本設計に着手することを確認した。この駅改造により、周辺整備が行えるよう地元や関係機関およびJR東日本と協議を進めていきたい。新八柱駅は駅舎構造上、大規模な改修が必要となるが、すでに基本設計を終了し、今年度から基本設計に着手する予定と伺っている。また、新京成常盤平駅北口には、すでにエレベーターが設置されており、駅南口のバリアフリー化計画は示されていないが、利用者の利便性を向上させるためにも新京成

安全で楽しい

自転車利用を

問 自転車運転マナー向上への取り組み状況について伺う。

答 自転車は市民生活に欠かせ

ない乗り物として、買い物や通勤・通学等に利用されている。また、環境保護の観点からも利用拡大が期待され、「バイクニューデイル」による新しいライフスタイルを提案した。

交通安全の面から、市も警察や交通安全関係団体等と協力し、キャンペーンや各種イベントを通じ、マナー向上を図っている。平成21年は、松戸競輪場で「サイクルフェスティバル松戸」を開催し、安全運転のPR活動を実施した。22年9月にはファミリーサイクリングを計画し、子どもから大人まで安全で楽しく利用できる自転車利用の推進と併せて、利用者のマナー向上を啓発していきたい。

子宮がんの予防と 早期発見のために

問 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成と子宮がん検診受診率の向上について伺う。

答 子宮頸がん予防ワクチンは、平成21年10月の承認以来、各自治体で関心が高まっている。22年6月から国の諮問機関において、本格的な審議が開始されるので、早期の定期接種化や副反応などの健康被害が生じた際の公的保証が確立されるよう期待している。

子宮がん検診の受診率は、21年度「女性特有のがん検診無料クーポン券」の利用により、約1%上昇したものの、依然低い状況である。集団検診の受付時間の拡大や啓発活動のほか、あらゆる機会をとらえ、受診率向上に努力する考えである。

地域ぐるみで 自主防災訓練

問 今後の自主防災訓練のあり方や訓練の内容等を伺う。

答 阪神・淡路大震災の教訓から地域防災計画の見直しを行い、自助・共助による市民防災へと発想の転換を行った。地域防災計画に基づく総合防災訓練は、会場型から地域ごとの分散型に変更し、行政と一体となって実施している。地域が行う自主防災訓練は、松戸の強みである消防10署体制による地域と密着した訓練指導を実施し、住民が主体となるよう各消防署がサポートしている。

白煙化防止装置停止で CO₂の削減を

問 清掃工場で煙突から排出する白煙（水蒸気）を防止するために、エネルギーを使っているが、



和名ヶ谷クリーンセンター

CO₂削減の観点から装置を停止できないか、見解を伺う。

答 焼却炉から発生するガスは、排ガス処理装置にかけるため冷却される。処理済みの排ガスをそのまま煙突から排出すると外気の湿度や気温によっては、水蒸気が白煙に見えることから、排ガス処理が不十分との誤解や不安を与える。白煙防止については、清掃工場建設時の近隣住民の方との約束の一つである。白煙防止に必要なエネルギーについては、検討しなればならない問題があるので、市民の方々に安心していただける施設維持管理を行う中で検討したい。

自転車利用の促進を図る

問 自転車プロジェクトチームからの報告内容と今後の施策は。

答 市内の「バイクニューディープロジェクトチーム」が国内外の情報収集を行い、自転車政策のあるべき姿の提案を行った。自転車の楽しさ、安全性等をコンセプトに新たなライフスタイルなどの報告となっている。

今後は、国体開催のPRも兼ね、「ゆめ半島千葉国体開催記念2010松戸ファミリーサイクリング」などにより、自転車が安全で楽しく健康的で、また、環境への効果もあることを実感していただくことで、利用促進と自転車交通安全の向上に貢献するものと考えられる。さらには、「松戸版自転車マップ」を作成して、観光施策等としても活用する考えである。

予算執行と新市長の 意向との整合性は

問 新市長の意向を踏まえ、緊急性のない予算執行は、一旦すべてやめるべきと考えるがどうか。

答 新市長のマニフェストに市長の廃止という項目があったことから、リース契約のため違約金の有無や契約解除の方法、他市の状況、また市長が移動する際のセキュリティの問題を含め、公用車の継続、廃止の調査などを始めた。しかし、平成22年度予算は第3次実施計画の最終年度となることから、重要な予算であるため、現時点で執行をやめることは考えていない。

なお、新市長就任後、その意向を確認し、予算の変更が必要な場合には、補正予算により対処することを考えている。

教育施策方針の基本的な 考え方と取組は

問 教育施策方針の「ヤル気になればデキル」というフレーズは、誰に向けた言葉なのか。また、教師は具体的に何をすればいいのか。

答 教育施策方針という性格上、市民全体に向けたものであるが、特に念頭にあったのは、学校である。

また、学校は何をするのかを一言で言えば、教育課程の工夫改善である。具体的には各種教育計画を見直し、創意と工夫を凝らし、「デキルからヤル場面」を教育課程に織り込むことである。同時に思考力を伸ばす問題解決学習などを行い、学習活動に工夫を図り、一層促進していくことが大切であると考えている。



学校で朝読書

放課後児童クラブの 現況と対策は

問 小学校1年生から3年生までで70人を超えているクラブ数とその対策は。また、4年生以上が入所しているクラブ数は。

答 1年生から3年生までで70人を超えているクラブは2か所あり、小学校の教室の借用や運営法人が民間施設を賃貸借することににより利用環境の向上を図っている。児童数71人以上のクラブについては、国補助金の廃止が懸念されたが継続される予定であり、施設面においても、小学校の実情に応じて教室を一時借用するなどの対応を図りたい。

4年生以上が入所しているクラブは、41か所あり、松戸市放課後児童クラブ法人連絡協議会と松戸市との覚書に基づき運営法人が入入を行っている。

ALT(外国語指導助手) の雇用形態は

問 他市では、ALTの雇用形態がALTとの雇用契約はどのような状況になっているか。

答 一般的にALTの雇用形態については、大きく分けて「請負契約」と「派遣契約」の2種類があり、本市では、昨年度までは請負契約で行っていた。事業が適正な形態で行われるよう必要な書類を整え、関係機関との連携を取りながら、学校へも繰り返し指導してきた。

その後、平成21年8月に文部科学省から出された「請負契約より

都市計画道路3・3・7号 幸谷区間について

問 事業地の無償提供は当初の計画とは異なり、事業面積の約3割であるが、このような状況になった経緯と財政効果は。また、供用開始に向けての進捗はどうか。

答 事業地に係る税制度について、税務署の指導を受けた結果、地権者が事業地すべてを市に無償提供した場合、地権者に非常に大きな税負担が発生することが分かり、このような結果となった。財政効果は、単純ではあるが、地権者に約3割の負担をしていたのだいた分、市の財政負担は約3割軽減されると推計している。

今後の進捗については、樹木の移植や文化財本調査と並行し、調整・工夫を行いながら本年度に工事着手し、平成23年度中の供用開始に向けて努力したい。

市民の命を守るために

問 川井市長は、間もなく任期満了で退任されるが、改めて市立病院に対する存念を伺う。

答 現場の医師、看護師や市議会からも「市立病院の現地建て替えはやめて欲しい」という強い要望があった。日々耐震性に不安を持ちながら、患者さんのために懸命に働いているのは、「やがて新しく安全な病院で働くことができ」という切なる希望があるからである。新市長が現地建て替えを進めるならば、多くの医師や看護師が去り、閉鎖に追い込まれる危険性が高くなると考える。

少子高齢社会の中、新病院を移転建設し、小児医療を充実させ、市民の命を守ることが、最重要課題であると考えている。

投票率向上のために

問 市長選挙があると市民団体等による「公開討論会」が開催される。各候補者の主張や人物を知するための参考になる大変良い企画である。

市民の選挙への関心を高め、投票率向上を図るためにも、この「公開討論会」の開催日程、各候補者の写真やプロフィールなどを「広報まつど」に掲載する考えは。

答 投票率向上のための啓発は、「広報まつど」で投票日と投票方法を併せてお知らせしている。市民団体が主催する「公開討論会」を「広報まつど」に掲載することは、期間的な問題、公平性・公共性・平等性が担保されるかなど、今後検討していくべき課題と認識している。

JR新八柱駅周辺の 交通対策は

問 JR新八柱駅周辺では、乗客待ちのタクシーが、周辺道路や交差点等で重なるように待機している。改善はできないか。

答 平成21年9月に松戸地区タクシー運営委員会に対し、所定の場所以外での待機の規制、歩行者、路線バス、一般車両の円滑な通行および乗降時の安全確保と乗務員のマナー向上等を徹底するよう要請した。また、警察へも待機車両への安全指導を要請した。

同年11月には、千葉運輸支局とタクシー事業者等による協議会が設立され、適正な車両数とする地域計画がまとめられた。これによって、タクシーに関する諸問題の抜本的な解決策になるものと期待している。

健全な病院事業経営の ために

問 市立病院の経営状況と医師や看護師の配置状況を伺う。
答 平成20年度の収支は、約1

億6千920万円の赤字であったが、21年度は約4千976万円の黒字になる見込みである。これは経営改善の効果が出てきたことや給与費等の減少によるものである。22年4月の医師の配置状況は、定数110人に対し105人で、前年より6人増員し、看護師は定数510人に対し471人で、前年より9人増員した。人材確保については、各大学医局への積極的な医師の要請活動を行うとともに、看護師の採用試験の回数を増やし、年齢の拡大を行った。さらに22年度から奨学金貸付制度を導入するなど新たな取組も始めている。

緑花清流のまちづくりは

問 川井市長が進めてきた緑花清流のまちづくりへの思いを伺う。
答 緑の部分では、市民の方の協力のもと、千葉大学園芸学部が存続することとなり、貴重な緑地を確保することができた。また、栗山の斜面林を特別保全樹林地に指定し、保全するための目的が立った。川の部分では、清流ルネッサンスの名のもと、坂川水系を中心としたきれいな川づくりに挑んだ。その結果、アユの遡上、セキショウ藻という県の絶滅危惧種やそこに産卵するハグロトンボの乱舞などが見られるようになった。いずれにしても水と緑、文化歴史の回廊づくりによる「ふるさと松戸の創生」を掲げたことに誤りは無かったと改めて認識している。



緑花清流 (坂川の風景)

6月定例会 審議結果

番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
市長提出議案			議員提出議案		
第4号	専決処分報告及び承認について(松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 全会一致	第1号	「政治とカネ」の疑惑の徹底解明を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第5号	平成22年度松戸市一般会計補正予算(第1回)	可決 全会一致	第2号	地域主権改革推進一括法案に反対する意見書の提出について	否決 多数意見
第6号	松戸市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について	可決 多数意見	第3号	法人税率引き下げと消費税増税に反対する意見書の提出について	否決 多数意見
第7号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第4号	後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第8号	松戸市立学校及び松戸市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第5号	労働者派遣法の抜本改正と徹底審議を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第9号	松戸市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第6号	普天間基地の無条件全面返還を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第10号	松戸市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第7号	未就職新卒者の支援策実施を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第11号	字の区域及び名称の変更について(高柳新田地区)	可決 全会一致	第8号	機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書の提出について	可決 多数意見
第12号	和解について	同意 全会一致	陳情		
第13号	松戸市名誉市民の決定について	同意 全会一致	平成21年度	公契約条例の制定を求める陳情	継続審査
第14号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	同意 全会一致	平成22年度	第2号 備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情	不採択 多数意見
第15号	千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	同意 全会一致	第3号	国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情	不採択 多数意見

常任委員視察報告

市議会の常任委員会では、先都市への行政視察を次のとおり実施しました。

総務財務常任委員会

視察日 4月14日から15日
視察市 兵庫県 神戸市
項目 ・危機管理室について
・神戸市防災福祉コミュニティについて

健康福祉常任委員会

視察日 4月13日から14日
視察市 兵庫県 宝塚市
項目 ・宝塚市立「フレミラ宝塚」について
視察市 大阪府 大阪市
項目 ・大阪府立「子育ていろいろ相談センター」について

教育経済常任委員会

視察日 4月14日から15日
視察市 新潟県 新潟市
項目 ・地域コミュニティ協議会について
視察市 新潟県 上越市
項目 ・ITCを活用した学校教育について

都市整備常任委員会

視察日 4月20日から21日
視察市 兵庫県 明石市
項目 ・明石市交通バリアフリー道路特定事業計画について

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 未就職新卒者の支援策実施を求める意見書
- 機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書

議員の寄附行為の禁止

政治家(後援団体)が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。
たとえば・・・

- お祭りや運動会など、地域の行事への寄附や差し入れ(催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合を除く。)
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いの時候の挨拶状(答礼のための自筆は除く。)

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものの案内をする場合には、会費を必ず明示して通知してください。



政務調査費を公開中

平成21年度政務調査費の収支報告書をまつど市議会のホームページに掲載しています。
各議員の収支報告書の詳細については、議会事務局で閲覧することができます。

問い合わせ先 庶務課 (366) 7381

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職35年以上の方が特別表彰に、議員在職15年以上の方が一般表彰の栄誉にそれぞれ浴されました。

特別表彰	小沢 暁民 議員
一般表彰	沢間 俊太郎 議員
	中田 京 議員
	大川 一利 議員
	富澤 凡一 議員
	岡本 和久 議員
	末松 裕人前議員
	杉浦 誠一前議員

9月定例会の開催予定

平成22年松戸市議会9月定例会は、8月24日(火)から9月22日(水)まで開催される予定です。請願・陳情は8月13日(金)正午までに提出してください。

期日	主な内容
8月24日(火)	招集日・本会議(市長の所信説明・議案説明) 本会議(一般質問)
9月1日(水)	〃
9月2日(木)	〃
9月3日(金)	〃
9月8日(水)	総務財務常任委員会
9月9日(木)	健康福祉常任委員会
9月10日(金)	教育経済常任委員会
9月13日(月)	都市整備常任委員会
9月14日(火)	決算審査特別委員会
9月15日(水)	〃
9月16日(木)	〃
9月17日(金)	〃
9月22日(水)	本会議(議案等の採決)

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸市朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読したテープを希望者に貸し出しをしていただいております。詳しくは左記までご連絡下さい。

松戸市障害者福祉センター
TEL (383) 7111
(ふれあい22内)
住所 松戸市五香西 37-1

編集の窓

ひまわりが太陽に向かって元気に顔をそらえるこの夏、宇宙で夢をかなえた山崎直子さんに私たちが松戸市民は、ひまわりの花のようになりました。

7月2日には、松戸市で4人目の名誉市民になられた山崎直子さんは、「夢を持つことを忘れないで」と諦めない心、夢をかなえることの素晴らしさを教えて下さいました。

希望と勇気と感動をありがとうございます。
さて、リニューアルされた「議会だより」は、いかがでしょうか。また、この6月議会からインターネット中継も実施され、本会議の様子が市民の皆様様にダイレクトに伝わるようになりました。これからも、読みやすい紙面づくりに取り組んでまいりますので、ぜひ、ご意見をお寄せ下さい。



10月31日(日)です 次回の発行予定は

議会を傍聴しませんか。

問い合わせ先 議会事務局 (366) 7382